

2024 年度 1 学期

☐問題用紙

☒問題兼解答用紙

☐解答用紙

☐その他()

☐片面印刷

☒両面印刷(上下同)

☐両面印刷(上下逆)

☐綴り

()枚

【解答用紙の種類】

☐別途答案用紙

☐罫線答案用紙

☐マークシート

☐PC 等

1 / 2

科目名

外国為替論

読替名

担当者

前田 淳

試験日

240729 月曜

3 時限

※在学(学籍)番号や氏名などは、すべての頁のすべての該当箇所に必ず記入すること。記入なき場合には、採点されない場合があります。※解答はすべて各解答欄に記入すること。※配点は各 8 点(ただし、基礎点として 4 点付与)。

(↓ 在学番号と氏名をここにも、必ず記入してください。※記入なき場合には、採点されない場合があります。)

在学番号: 氏名:

設問 01 昨日の外国為替市場の終値が、\$1=¥β で、今日の終値よりも α 円のドル安だったとすると、今日の終値は、いくらになるか。
\$1=¥[]で答えを表記したときの[]に入る適切な式を下の選択肢から選び、番号で解答しなさい。
〔選択肢〕
1. α + β、2. α − β、3. β − α、4. α ÷ β、5. α × β 解答欄⇒[1]

設問 02 \$1=¥120、€1=\$3、£1=€2 であれば、4320 円は何ポンドか。 解答欄⇒[6]ポンド

設問 03 あなたは卒業旅行でアメリカに行こうと思い、\$1=¥150 のレートで 30 万円をドルに換えた。ところが、急病のために旅行をキャンセルしたので、そのドルを全額、円に戻したところ、適用されたレートが\$1=¥145 であった。この結果、あなたは何円損したことになるか。万円単位整数一桁で解答しなさい。※手数料は一切かからないと仮定する。 解答欄⇒[1]万円

設問 04 船積書類の内容として下の A~E から 3 つを選んだときに、最も適切な組合せを下の選択肢から一つ選び、番号で答えなさい。
A 送り状、B 為替手形、C 信用状、D 船荷証券、E 保険証券 解答欄⇒[6]
〔選択肢〕
1: ABC、2: ABD、3: ABE、4: ACD、5: ACE、6: ADE、7: BCD、8: BCE、9: CDE

設問 05 日本の企業 A がアメリカの企業 B に財を円建てで輸出して、その代金の決済は日本の銀行甲とアメリカの銀行乙の間で行われたとする。その決済の内容はどのようになるか。下の選択肢から適切な説明を一つ選び、番号で解答しなさい。 解答欄⇒[2]
〔選択肢〕
1: 乙が甲に持つドル預金の引落し。2: 乙が甲に持つ円預金の引落し。3: 乙が甲に持つドル預金への振込み。4: 乙が甲に持つ円預金への振込み。5: 甲が乙に持つドル預金の引落し。6: 甲が乙に持つ円預金の引落し。7: 甲が乙に持つドル預金への振込み。8: 甲が乙に持つ円預金への振込み。

設問 06 貿易収支の赤字が長期で続く国では、外貨準備が減少する傾向がある。その理由を説明した文として最も適切なものは、以下のどれか。選択肢から一つ選び番号で解答しなさい。 解答欄⇒[4]
〔選択肢〕
1. 成長を見込んで大量の資本流入があると、金融収支も黒字となるため、その国の為替市場には、大量に流入する外貨を売る民間銀行が多い状態になるため。
2. そうした国では、輸出による外貨の受取りが、輸入による外貨の支払いよりも多くなる。その結果、その国の外国為替市場で外貨売り・自国貨買いが、外貨買い・自国貨売りよりも多くなり、外貨を売りたい銀行としては、買い手が見つからずに、外貨を安くして出合いを付けようとする。それに対して、中央銀行がときおり、外貨買い・自国貨売りの市場介入をするから。
3. 貿易収支の赤字が長期で続いているということは、財の輸入額が輸出額を上回っている、つまり海外から財を受け取る数より引き渡す数の方が少ないといえる。受け取る数の方が多くなれば、決算するときにその分相手の国に支払う代金が減少し、それに伴い民間銀行が保有する外貨建ての資産も減少することになるため。
4. 外貨の支払いのための外貨買い・自国貨売りが市場で多くなることに対して、通貨当局が外貨売りの介入をすることがあるため。

設問 07 2010 年の為替レートが購買力平価と一致していて、\$1=¥150 円だったとする。2020 年までにアメリカの物価は 5%上がり、日本の物価は 3%上がったとする。そして 2020 年の為替レートが\$1=¥160 になったとする。2020 年の相対的購買力平価を算出する式を下のように表記したとき、それぞれの[]に入る、適切なものはどれか。各選択肢から選び、それぞれ記号(アルファベット)で答えなさい。
相対的購買力平価の式: \$1 = ¥[①] × $\frac{[②]}{[③]}$ 解答欄⇒①[a] ②[f] ③[m]

〔①の選択肢〕 a. 150、b. 160、c. 160 ÷ 150、d. 150 ÷ 160、e. 150 × 160
〔②の選択肢〕 f. 1.03、g. 1.05、h. 1 + 3、i. 1 + 5、j. 100 ÷ 103
〔③の選択肢〕 k. 1.03、m. 1.05、n. 1 + 3、p. 1 + 5、q. 100 ÷ 105

設問 08 日本の企業や金融機関が外貨建ての対外資産・負債を持っているときに、円安・円高による収益への影響を下を表で示すこととする。各[]に「益」または「損」を記入する場合、正しい組合せはどれか。選択肢から一つ選び番号で解答しなさい。 解答欄⇒[4]

	円安	円高
外貨建て資産	[a]	[b]
外貨建て負債	[c]	[d]

〔選択肢〕※選択肢では、[]の a、b、c、d の順で左から記載。
1. 益、益、損、損、2. 損、損、益、益、3. 損、益、益、損、4. 益、損、損、益

着席番号

学部学科

在学番号

氏名

評点

2024 年度 1 学期

☐問題用紙

☒問題兼解答用紙

☐解答用紙

☐その他()

☐片面印刷

☒両面印刷(上下同)

☐両面印刷(上下逆)

☐綴り

()枚

【解答用紙の種類】

☐別途答案用紙

☐罫線答案用紙

☐マークシート

☐PC 等

2 / 2

科目名	外国為替論	読替名		担当者	前田 淳	試験日	240729 月曜	3 時限
-----	-------	-----	--	-----	------	-----	-----------	------

※在学(学籍)番号や氏名などは、すべての頁のすべての該当箇所 に必ず記入すること。記入なき場合には、採点されない場合があります。※解答はすべて各解答欄に記入すること。※配点は各 8 点(ただし、基礎点として 4 点付与)。

(↓ 在学番号と氏名をこのすぐ下にも、再び必ず記入してください。 ※記入なき場合には、採点されない場合があります。)
在学番号: 氏名:

設問 09 為替レートがどのような原理によって変化するかを説明した下の文の中で、適切なものを選択肢から選び番号で解答しなさい(適切な文は、一つだけとは限らない)。
解答欄⇒[1、3、4]

- 〔選択肢〕
1. アセットアプローチによると、主に金融資産への投資行動が、為替の取引高を形成してレートを左右する。

2. 購買力平価よりも実際の為替レートが自国貨安の場合は、長期的には自国貨は購買力平価に近づき、自国貨安・外貨高になってゆく。

3. マネタリーアプローチによると、マネタリーベースなどの貨幣量(通貨量)が他の国よりも多い(増加している)場合、その国の通貨は値下がりする傾向がある。

4. 一般的には金利が高い国の通貨は、増価する傾向がある。

設問 10 円安が日本経済に与える影響を説明した下の各文について、理論的に考えた場合、適切な文はどれか。記号で解答しなさい(適切な文は、一つだけとは限らない)。
解答欄⇒[1、3、4、6]

- 〔選択肢〕
1. 円安は、外国から日本へのインバウンド・ツーリズムを増やす。

2. 円安は、日本から輸出される財の外国での販売価格を高くする要因となりうる。

3. 円安は、他の国と比較した日本の GDP の規模を小さくする。

4. 円安は、日本の輸入物価を高くする要因となりうる。

5. 円安は、日本の労賃の水準を外国に比べてより高くするので、日本企業の対外直接投資を促す要因となりうる。

6. 円安は、日本企業が海外で挙げた収益を円に換算する数値を大きくする。

設問 11 実質為替レートと実効為替レートの説明として、最も適切はどれか。選択肢から選び番号で解答しなさい。解答欄⇒[3]

- 〔選択肢〕
1. 実質為替レートとは、各国と自国での物価の変化を複数の国を対象に加重平均して計算された為替レートであり、実効為替レートとは、そうした実質為替レート変化が、国際競争力の観点から悪化したのか、改善したのかを指数化して算出されるものである。

2. 実効為替レートとは、各国と自国での物価の変化を複数の国を対象に加重平均して計算された為替レートであり、実質為替レートとは、そうした実効為替レート変化が、国際競争力の観点から悪化したのか、改善したのかを指数化して算出されるものである

3. 実質為替レートとは、相手の国と自国での物価の変化を考慮に入れて計算された為替レートであり、実効為替レートとは、複数の国の通貨に対する自国貨のレート変化を加重平均したものである。

4. 実質為替レートとは、複数の国の通貨に対する自国貨のレート変化を加重平均したものであり、実効為替レートとは、相手の国と自国での物価の変化を考慮に入れて計算された為替レートである。

設問 12 アメリカと中国の間で、基準時としての 2010 年と 2015 年の名目為替レートおよび物価の関係が下の表のとおりだとする。このとき、ドル・人民元間の 2015 年の実質為替レートと相対的購買力平価の組み合わせとして正しいのは下の選択肢 1.~5.のどれか、番号で答えなさい。ただし、基準時には購買力平価と為替レートが一致していたと仮定する。
解答欄⇒[2]

	2010	2015
アメリカの物価	U1ドル	U2ドル
中国の物価	C1元	C2元
名目為替レート	E1	E2

〔選択肢〕

	1.	2.	3.	4.	5.
実質為替レート	$E1 \times (U1/U2) \diagdown (C1/C2)$	$E2 \times (U2/U1) \diagdown (C2/C1)$	$E1 \times (C1/C2) \diagdown (U1/U2)$	$E2 \times (U1/U2) \diagdown (C1/C2)$	$E1 \times (U2/U1) \diagdown (C2/C1)$
相対的購買力平価	$E2 \times (U1/U2) \diagdown (C1/C2)$	$E1 \times (C2/C1) \diagdown (U2/U1)$	$E2 \times (C1/C2) \diagdown (U1/U2)$	$E1 \times (U2/U1) \diagdown (C2/C1)$	$E2 \times (C2/C1) \diagdown (U2/U1)$

着席番号	学部学科	在学番号	氏名	評点
------	------	------	----	----